

2010年度 決算説明資料

明豊ファシリティワークス株式会社

2011年5月16日



I. 2010年度 決算概要



I-1 2010年度のトピック①

(各項目を円単位計算後、百万円未満切捨て)

定量面		2009年度 実績	2010年度 実績	前年同期比較
	売上高	2,688	4,255	1,567
	売上総利益	441	779	337
	売上総利益率	16.4%	18.3%	1.9%
	営業利益	△243	70	314
	経常利益	△238	69	307
	当期純利益	△150	34	185

I-1 2010年度のトピック②

定性面

「受注概況と、幅広い分野からのCM手法の採用」

オフィス事業につきましては、依然として厳しい受注環境の中で、ワークライフバランスへの対応や事業継続、環境保護等の観点に優れているテレワークを意識した生産性の高いオフィス構築案件等について、着実に受注に繋がりました。

アットリスクCM方式を採用した請負契約でのオフィス入居、移転、改修プロジェクトが多く完成し、売上高は大きく増加致しました。

CM事業につきましては、適正価格を追求したコスト削減、プロが顧客につくことによる迅速な意思決定と工期短縮、発注プロセスの透明性向上等、顧客の要請が拡大している中、工事や機器の調達に対する徹底したベンダーフリー、顧客本位の品質、コスト、スケジュールの最適化実現に優れていることから、当社の価値は益々高まっており、評価を頂いております。

また、国際財務報告基準等の影響もあり、大企業を中心に遊休不動産を含めた企業不動産の有効活用を意識した投資活動が顕在化しております。

CREM事業につきましては、大企業向けを中心に、保有資産の最適化をサポートし、多拠点施設の新築、改善プロジェクトに関して、当社技術者集団による透明なプロセス(CM手法)採用による工事コスト削減や、データベース化による効率的施設管理効果が着実に顧客の評価を獲得しております。

また、金融機関、大手企業、第三セクターより、LCM(ライフサイクルマネジメント)等の依頼が増加、資産除去債務への対応や、改正省エネ法への対応も含め、当社サービスへのニーズは益々高まりを見せております。

環境対応

CO2削減、改正省エネ法などの対応など、各企業様のCSRに対する意識はさらに高まっております。当社のCM手法は、その透明性により顧客の環境目的達成を支援することができます。

当事業年度より複数の案件を受注し、当社独自の手法にて最大の投資効果を得るべくCM手法で支援しております。

業務提携

当社は、2010年6月28日、国際的な建設コンサルタント及びプロジェクトマネジメント会社として長い歴史と実績のあるCyril Sweett plc並びにWidnell Sweett Ltd(現在は両社が合併してCyril Sweett plc)と、建設プロジェクトの分野において、全世界を対象とした戦略的提携を行うことで合意致しました。

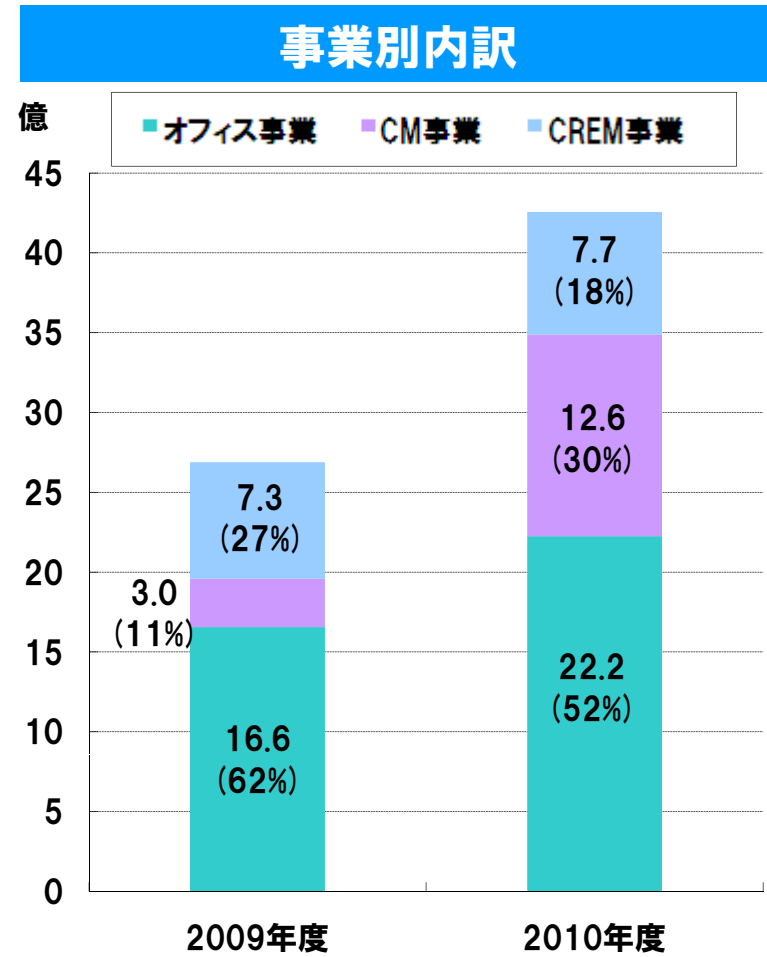
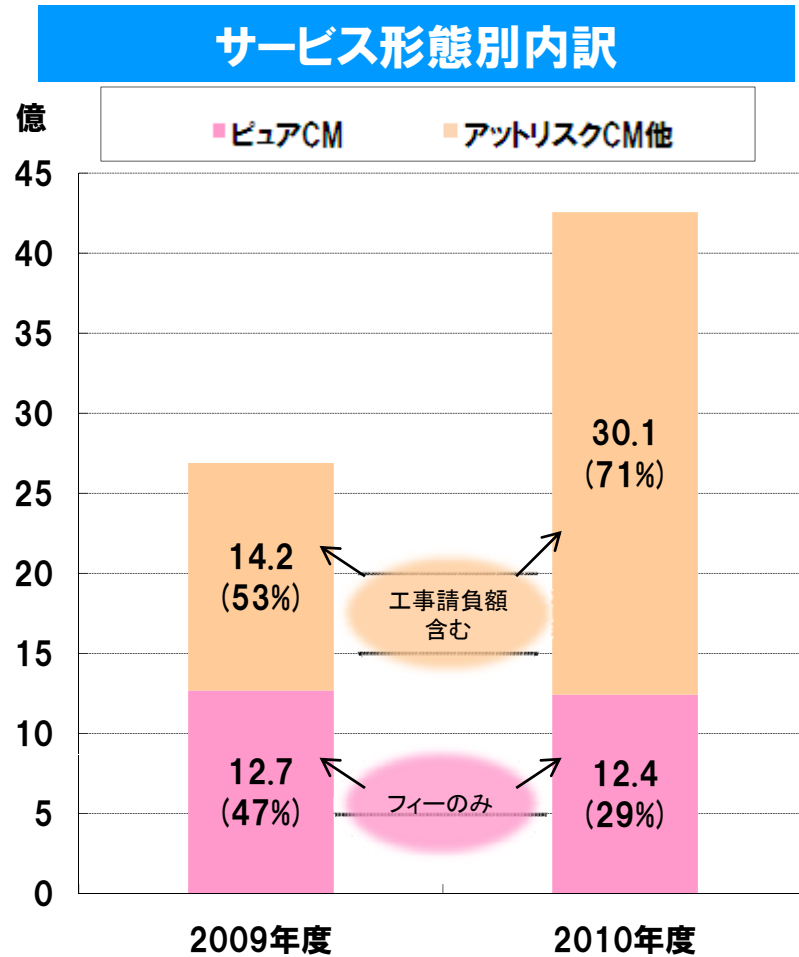
当期中に、提携会社からの紹介で、在外企業の日本におけるCM案件を1件受注しました。

テレワーク推進賞

社団法人日本テレワーク協会が実施する「第11回テレワーク推進賞」において、「新たな成長をする、豊かな環境社会を目指して」をテーマに募集が行われ、平成23年1月に、多数の応募団体の中から当社が優秀賞を受賞いたしました。

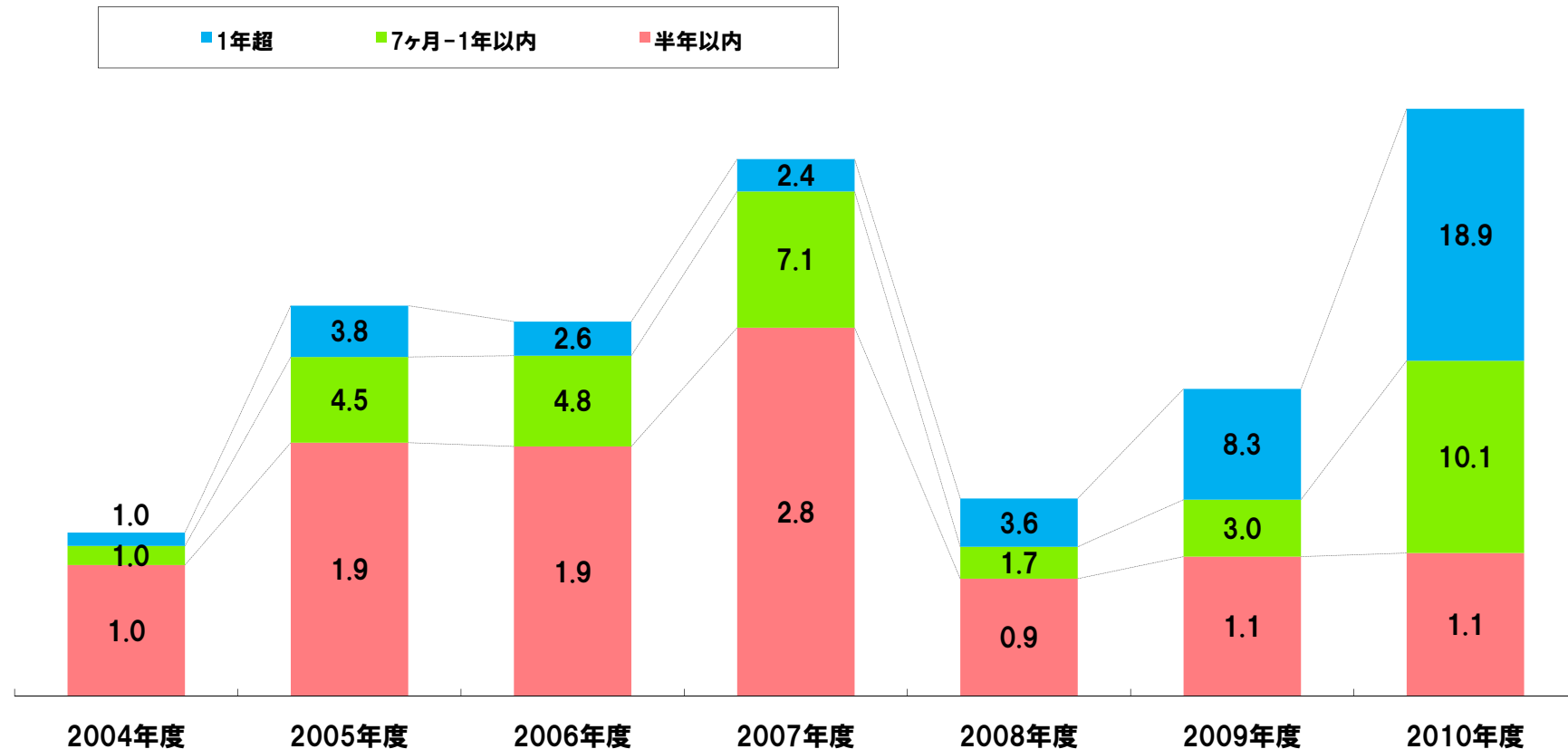
1-2 売上高の推移

アットリスクCM手法が多く採用され、売上高は前年度の1.5倍となっております。



1-3 受注残高の推移 ※2004年度を1とした売上粗利益ベースの指数

世界的金融危機により大きく減少した受注残は、2009年度以降、順調に増加しております。

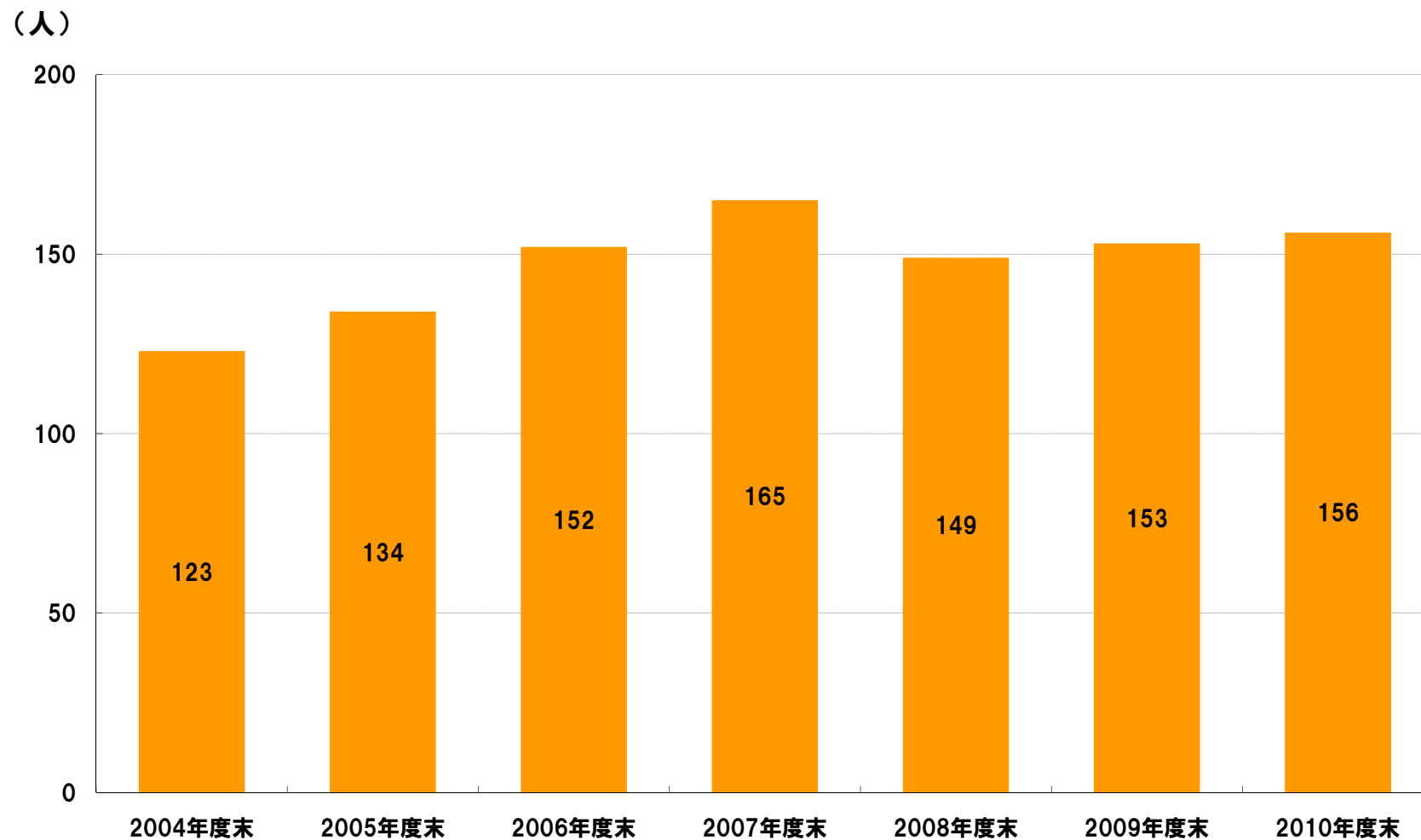


(補足) 2004年度からの受注残高と、その終了予定時期の推移を表したものであります。受注残高は2009年度から進行基準による既売上計上分を控除しております。また、「半年以内」とは、2010年度末から半年以内に終了を迎え、売上を計上する予定のものをさします。尚、これはあくまでも現時点での予定であり、実際の売上計上時期は、顧客等の事情により、前後する可能性があります。



I-4 社員数の推移

3名純増となる156名体制となっております。



(注)役員および契約社員、派遣社員等を含む

II. 2011年度計画



II-1 2011年度方針

1. 変化への対応力強化

未曾有の大震災による経営環境の変化、更に激化するグローバル競争等の中で、お客様の発注動機は更に大きく変化し、当社への要求水準が高まって参ります。当社は、このようなCM市場の変化と拡大に適確に対応できるよう、全社員に当社の強みの理解を徹底させることと、優秀なメンバーの採用と、社員のマルチタレント化への挑戦を引き続き進めて参ります。

2. ブランドの確立

当社は、平成23年3月に江戸川区からCM方式による改築事業を3期連続公募により採用され、又、医療施設、金融、商業、メーカー、鉄道等での大企業からもCM業務の受注が増加しております。今後も我国におけるCMビジネスの第一人者としてブランド向上を図ります。

II-2 2011年度 業績予想

(単位:百万円)

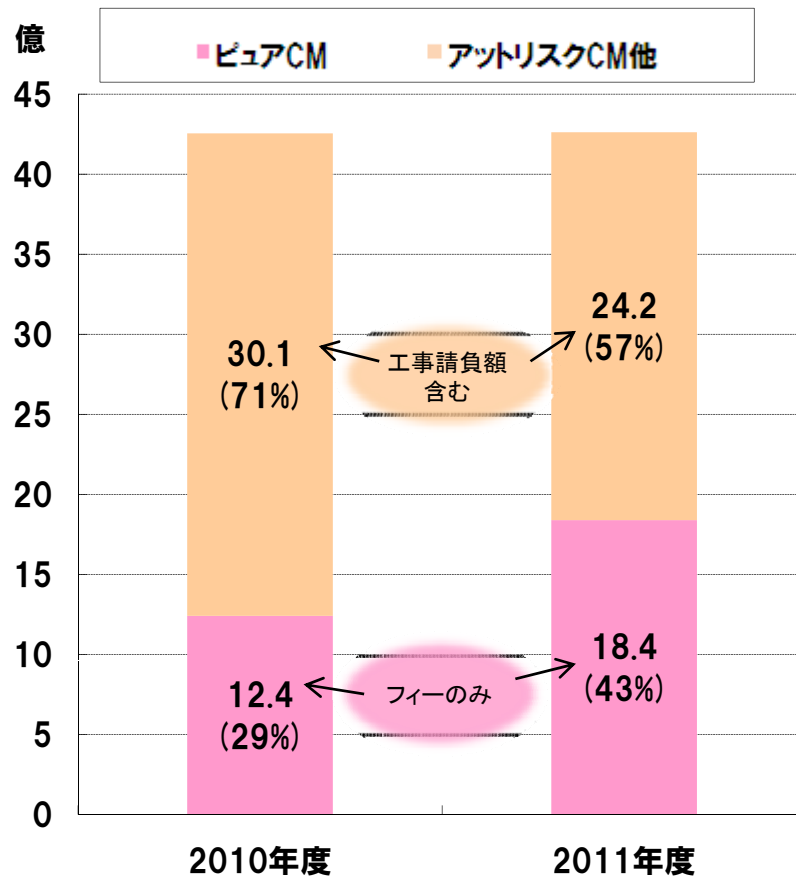
	2010年度		2011年度		前年度比	増減率
	上半期	通期	上半期	通期		
売上高	2,053	4,255	1,800	4,300	45	1.0%
営業利益	△46	70	△17	100	29	41.7%
経常利益	△46	69	△19	90	20	29.5%
当期利益	△33	34	△24	36	1	4.3%

百万円未満切り捨て

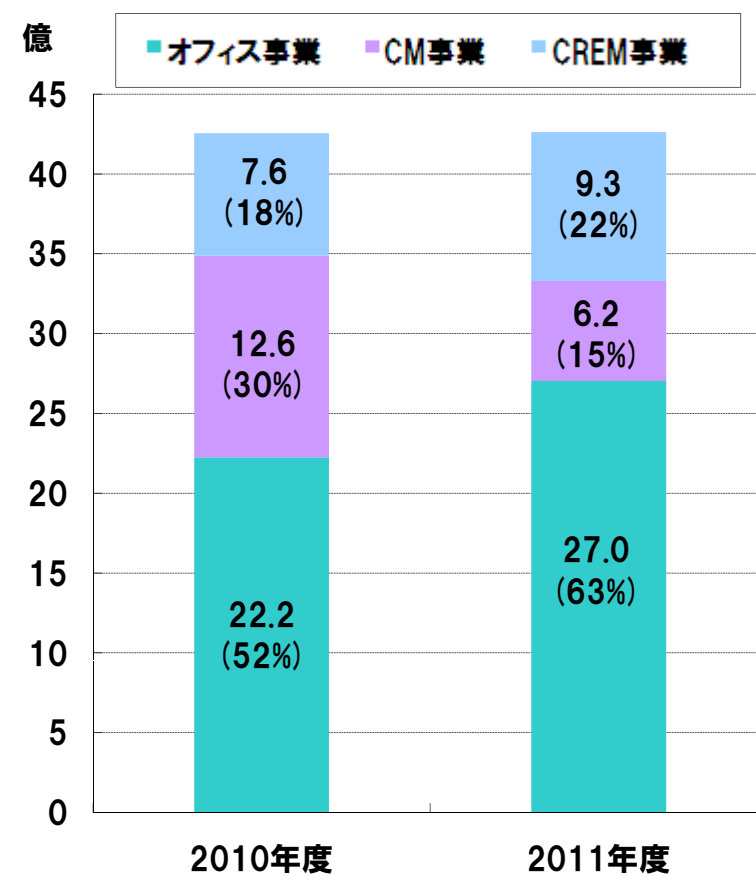


II-3 業績予想(売上高)

サービス形態別内訳



事業別内訳



業績予想に関する留意点

本説明資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいており、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、さまざまな要因の変化等によりこれらの見通しと異なる場合がありますことをご了承ください。